

祝 辞



京都府教育委員会 委員長 田原 博明

京都府立山城高等学校が創立百年という輝かしい記念の年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

本校は、校歌にも詠われておりますとおり、妙心寺、双ヶ丘の夕景を望む地にあり、平安期寢殿造りの原型と思われる遺構を校地に残すなど、古都にふさわしい豊かな歴史と四季の移ろいを日々感じ取るすばらしい環境にあります。

この恵まれた環境に育まれて果立った卒業生は、明治四十（一九〇七）年三月、京都府立第五中学校として創立されて以来、府立京都第三中学校の時期を経て今日に至るまで、約三万五千人を数え、幅広い分野で活躍しております。また、卒業生の皆様には、生徒に生き方や学びの大切さなどを講義いただく講演会「山城塾」をはじめ、本校の教育に有形無形の御支援御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本校は、自主・自立・共生の精神を培い正義を貫く人間を育成するという教育方針のもとに、教科指導、部活動等において創意溢れる教育を展開され、多くの輝かしい実績を残しております。これも、PTAや地域の方々の熱い期待と多くの御支援、そして、歴代の校長先生をはじめとする教職員の皆様の熱心な御指導のたまものと、深く敬意を表する次第であります。

今日、学校では、著しい社会の変化や価値観の多様化により、さまざまな改革がすすめられております。府教育委員会においては、二十一世紀を担う子どもたちの育成を目指し、「京の子ども、夢・未来」プラン21を策定して、子どもたち一人ひとりが確かな学力を身に付け個性をのばす教育を目指して、教育改革を積極的に推進しております。また、百周年を前に新校舎建設を進め、明るい中庭をもつ校舎や屋上にテニスコートを備えた体育館が、皆様方の御協力により昨年、めでたくしゅん工いたしました。山城高校におかれましても、学校創立百年の歴史と伝統に培われた教育財産に安住することなく、この新校舎で、新たな明日への歴史を築きあげるために、熱意溢れる御指導と個に応じた創造性豊かな教育を展開していただきたいと願っております。

結びにあたり、京都府立山城高等学校が、二十一世紀を担う有為な人材育成と社会の発展のためにより一層貢献されるとともに、今後とも本府高校教育の中核的な役割を発揮されることを祈念いたします。私のお祝いの言葉といたします。

平成十八年五月吉日